

25卒学生状況から見る26卒早期市場



目次

- 1 インターンシップの定義変更 (p3~5)
- 2 アンケートから見る、就活生の傾向とは(p6~11)
- 3 キミスカ2026について (p12~15)



インターンシップの定義変更

インターンシップの定義変更

経済産業省、文部科学省及び厚生労働省により、インターンシップの定義が変更されました。

【改定の目的】

- 1 学生の混乱を避けるため、インターンシップ本来の目的に沿ったルール統一
- 2 グローバル人材育成のための自律的なキャリア形成支援

内容や目的により、インターンシップは4つのタイプに分類されました。

オープン・カンパニー

キャリア教育

汎用的能力・専門活用型
インターンシップ

高度専門型
インターンシップ

参考：[採用と大学教育の未来に関する産学協議会 2021年度報告書](#)



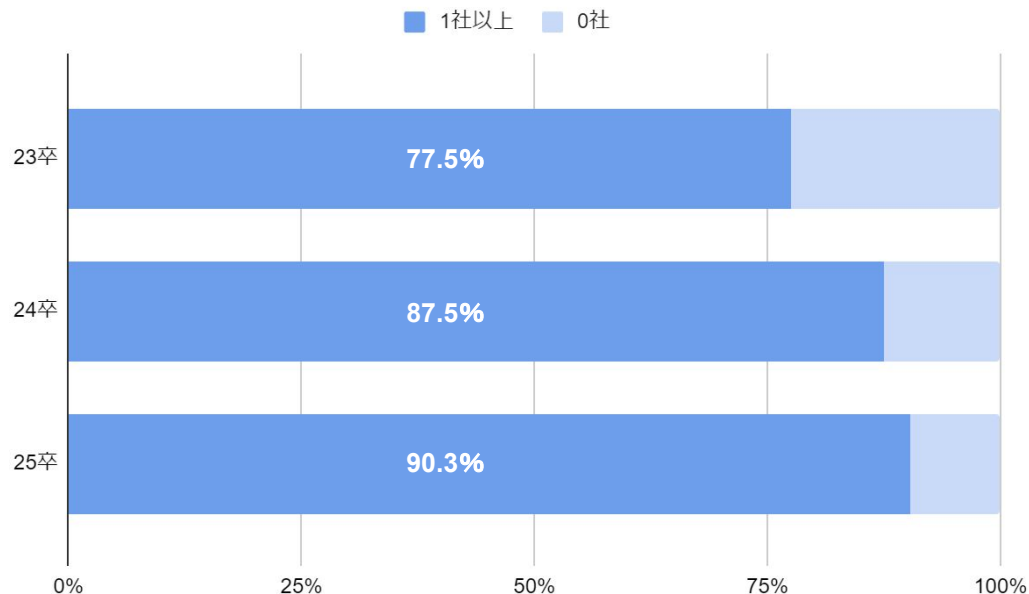
インターンシップの定義変更

	オープン・ カンパニー	キャリア教育	汎用的能力・ 専門活用型 インターンシップ	高度専門型 インターンシップ
目的	会社や業界の説明	働くことの理解を深める教育	就業体験による自らの能力見極め 学生の評価材料の取得（企業側）	就業体験による実践力向上 学生の評価材料の取得（企業側）
代表例	企業イベントや説明会	大学主導の授業やプログラム	適正・汎用的能力ないし専門性 を重視したプログラム	ジョブ型研究 インターンシップ（試行中）
就業体験	なし	任意	必須	必須
期間	単日	授業・プログラムによる	汎用的能力活用型は5日以上 専門活用型は2週間以上	長期（2ヶ月以上）
時期	学業の両立に配慮した 全期間	全期間	長期休暇期間	—
学生情報を 採用に活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

参考：[採用と大学教育の未来に関する産学協議会](#)

アンケートから見る 就活生の傾向とは

25卒学生のインターンシップ参加率



23卒～25卒同時期のアンケート（1月）で見ると、25卒学生は90.3%がインターンシップ（オープン・カンパニー含む）に参加しており、2年前の**23卒から+12.8%**という結果になりました。

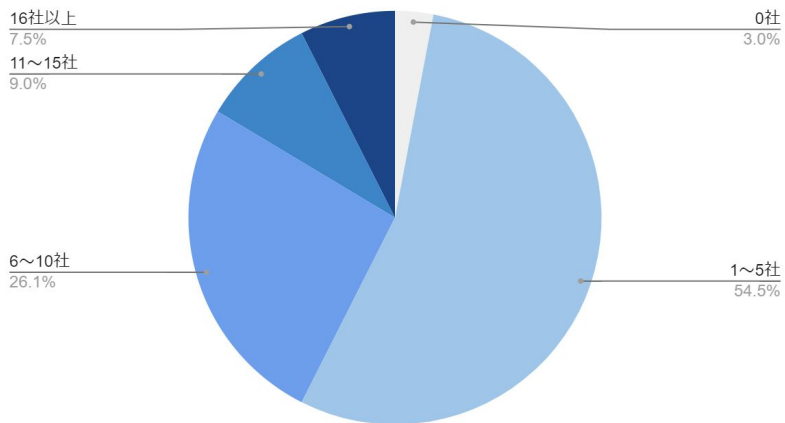
就活生の中で参加していない人は稀という程、ほとんどの就活生が当たり前のように参加する現状です。

早期段階から学生と接点を持てるチャンスとして捉え、積極的に取り入れていく必要があるでしょう。

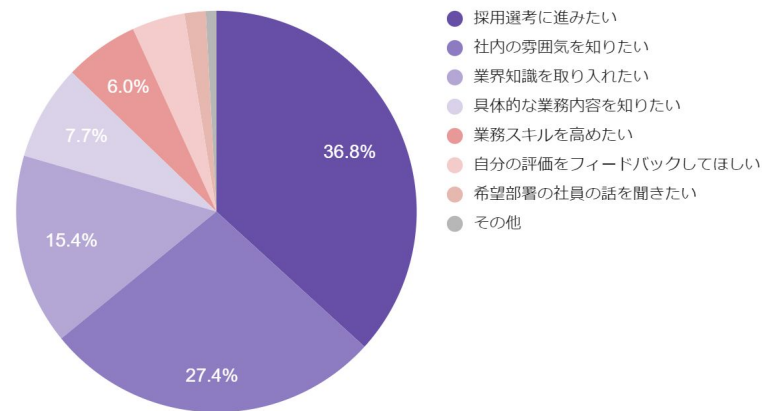
有効回答数：191名（23卒） 192名（24卒） 124名（25卒）

25卒 夏インターンへの期待

夏インターン参加予定社数（8月）



夏インターンに最も期待していることはなんですか？

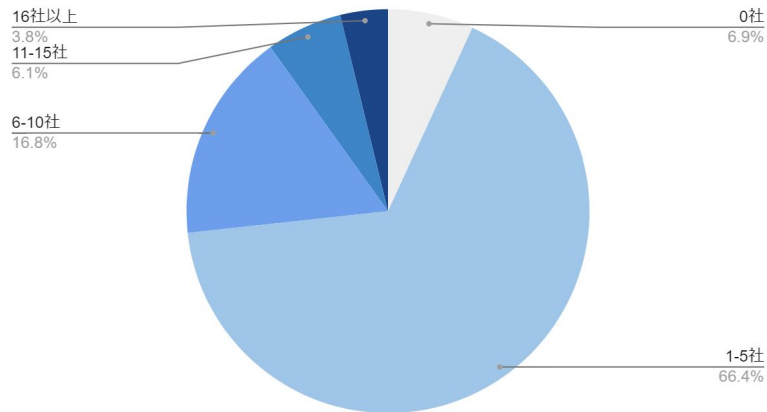


n=134

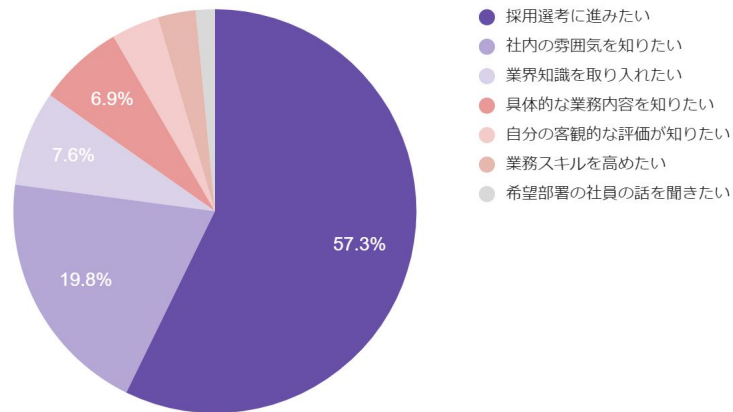
夏インターンへの参加予定数を聞いたところ、**97%が1社以上の参加意向**を示していました。夏インターンに期待することは、1位「採用選考に進みたい」2位「社内の雰囲気を知りたい」3位に「業界知識を取り入れたい」となり、夏のタイミングで幅広い業界・企業を見て、まずは「知ること」を目的に行動量を増やしている可能性も考えられます。

25卒 秋冬インターンへの期待

秋冬インターン参加予定社数（10月）



秋冬インターンに最も期待していることを教えてください。



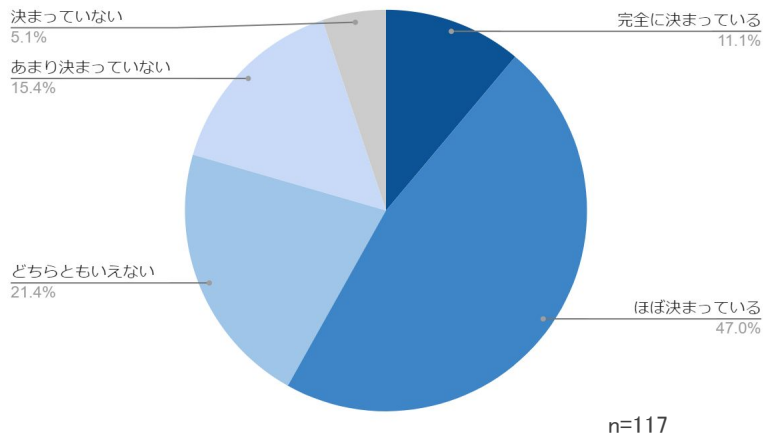
n=131

秋冬インターンでも**9割超えの学生が参加意向を示しています**が、**夏のインターンのほうが1人当たりの参加予定社数が多い**傾向にあります。

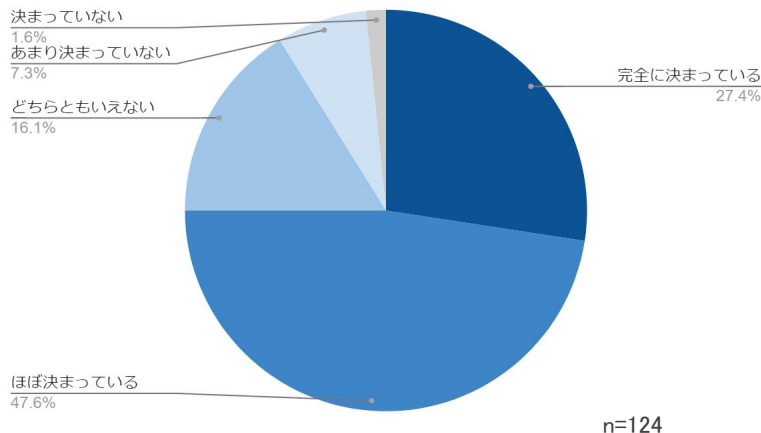
期待していることは、「採用選考に進みたい」が57.3%（夏から+20.5%）となり、夏のインターンを経てある程度受けたい企業や業界を固め、選考への意識がより高まっていると言えます。

25卒学生の志望業界について

志望業界は決まっていますか？（2023年6月）



志望業界は決まっていますか？（2024年1月）



志望業界に関するアンケートでは「完全に決まっている」「ほぼ決まっている」と回答した学生が75%となり、**インターンの参加を経て学生の志望業界が定まってくる**ことがわかります。2023年6月にも同様のアンケートを実施しましたが、7ヶ月前と比較すると「決まっていない」「あまり決まっていない」が11.6%減少し、「完全に決まっている」と回答した学生が16.3%増加しています。

1 インターンシップ参加は9割超え

特に夏のインターンシップは多く参加する傾向あり

2 採用選考要素への期待は大きい

時期関係なく、選考に有利になることを期待してインターンに参加している

3 志望業界の決定はインターンシップが要に



25卒学生にとっても、インターンシップへの参加がその後の就活を大きく左右するものになっていることがわかりました。

あくまで「きっかけ」ではありますが、**3月の採用情報・広報解禁を前には自身の進む方向をある程度固めているというのが25卒の現状**です。

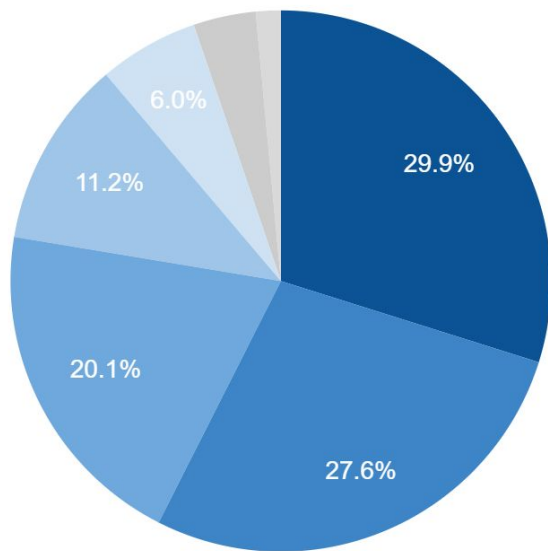
これを踏まえて、26卒採用でも学生の志向が固まる前に企業の魅力を知ってもらう必要があります。学生のスピードに合わせた早めの計画と選考を見据えた就業体験ありのインターンの検討がおすすめです！

※今回のアンケートの「インターンシップ」はオープン・カンパニー等も含まれます。

キミスカ2026について

学生がキミスカを利用する理由

キミスカの利用目的を教えてください（8月）



n=134

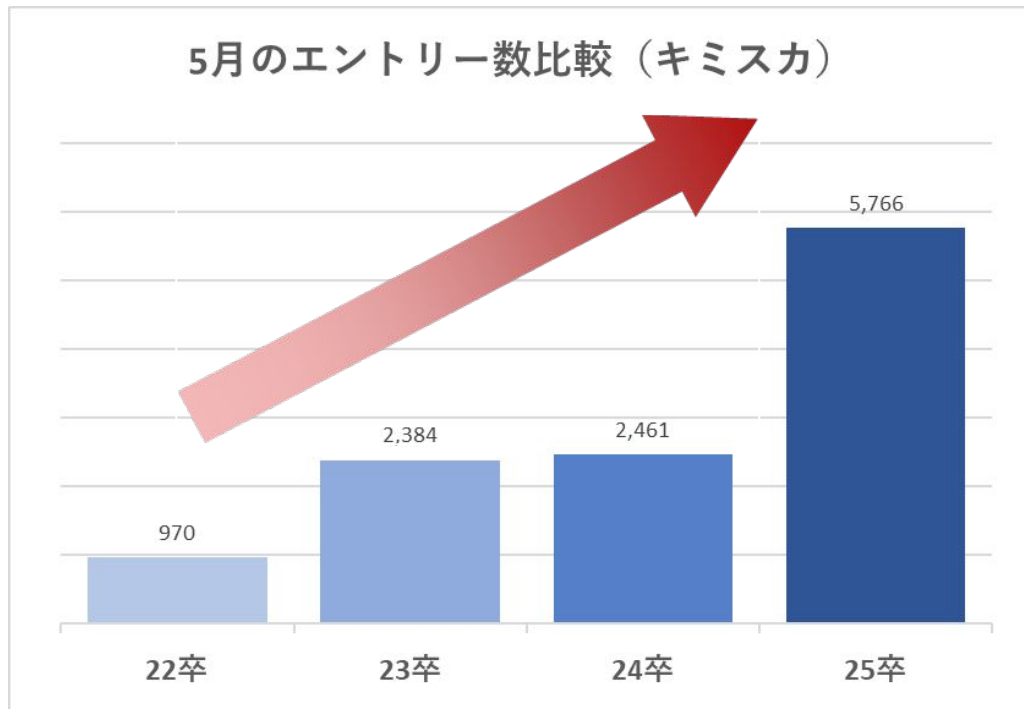
- 相性の良い企業と出会うため
- 志望業界の視野を広げるため
- 大手企業からスカウトをもらうため
- インターン参加のため
- 早期選考を受けるため
- 自己分析のため
- その他

夏インターン時期の8月に聞いたキミスカ利用目的のアンケートでは、「**相性の良い企業と出会うため**」「**志望業界の視野を広げるため**」の2つだけで**57.5%**と半数を超えています。

ナビサイトやインターネット検索では出会えないような企業との出会いを期待して、自分にマッチした企業からのスカウトを受け取りたいと考える学生が多く登録しています。

新たな出会いに期待する学生が特に多い早期は、学生の反応率も高くなります。

早期でキミスカを利用するメリット



キミスカリリースから2ヶ月後の5月のエントリー数を2022年卒～2025年卒で比較しました。

右肩上がりで伸びており、4年間で約6倍に増えています。

キミスカ内においても、学生の動きが年々早く活発化していることがわかります。

早期利用がお得なキミスカ

■ 通常のご利用期間

25卒: 2024年09月30日
26卒: 2025年09月30日

25卒: 2024年09月30日
26卒: 2025年09月30日



採用枠	導入費用	1ヶ月あたりのスカウト通数		
		ゴールド	シルバー	ノーマル
3名枠	75万円	50	/150	/1000
5名枠	125万円	90	/250	/1200
10名枠	250万円	240	/550	/1700
30名枠	750万円	1040	/1950	/3700

契約プランの
採用人数を超えた場合

35万円/1名



キミスカはご利用開始時期にかかわらず、9月30日にスカウト設定期間が終了します。

そのため、早く始めればその分スカウト送信期間と送信可能数が増える仕組みになり、とてもお得です！

この機会に早めのご検討をしてみたいかがでしょうか？

キミスカ2026は3月より始まります。担当までお気軽にお問い合わせくださいませ。